

十和田市

社協だより

平成24年1月発行 第89号

「住民が支え合い、誰もがその人らしく
健やかで安心して暮らせる福祉社会」をめざして

編集・発行

社会福祉法人 十和田市社会福祉協議会

〒034-0081

十和田市西十三番町2-25

(十和田市総合福祉センター内)

☎ 0176-23-2992



大丈夫、ゆっくり進もうね

友達が力をしないように優しく誘導



社会福祉協議会では、講話や高齢者・視覚障がい者擬似体験などを通じて、「思いやり」や「助け合い」について学ぶ福祉体験学習を行っています。(10/24西小学校 桜の広場)

地域の中で、人と人をつなぐ交流の場！

高齢者の集い「ふれあい・いきいきサロン」

定年を迎え、第二の人生を歩き始めた方の多くは、65才を過ぎていても、まだまだ躍動的で活力があります。

しかし、このような方の中にも、軽いケガや数日寝込んだことで、外に出るのが面倒になってしまい、家に閉じこもりがちになることがあります。また、一人で家にいると、次第に気持ちも沈みやすくなっていきます。

高齢者の集いで予防

社会福祉協議会では、高齢者が家に閉じこもりがちにならないよう、定期的に外出するきっかけづくり、孤独死防止につながる地域のネットワークづくりのため「ふれあい・いきいきサロン」事業を市内各地に進めています。



指編みをしながらも、おしゃべりに花が咲きます。

どんなことをするの？

- ◆開催場所
地域の集会所など徒歩や自転車で気軽に行ける場所
- ◆開催回数
月1〜2回程度
- ◆対象者
おおむね65歳以上の高齢者と、地域の協力者・町内会役員など
- ◆活動内容
おしゃべり、季節行事、ゲーム、予防体操、軽スポーツ、工作、食事会など

内容は、参加者が楽しく過ごせるようにと、各地域でいろいろ工夫をしています。

社会福祉協議会では、活動地域へ、3年間を限度に助成金を交付しており、今年度は13地域に交付しました。また、息の長い活動となるように、相談や情報提供を行っています。

平成23年度 助成金交付地域

町内会	ふれあい・いきいきサロン名
一本松	一本松いきいきサロン
滝沢小学校区	滝沢長寿クラブ
下切田	下切田ふれあい・いきいきサロン
西四番町、西十四番町	みんなで集まる楽しいふれあいデー
吾郷	吾郷ふれあい・いきいきサロン
東小稲	東小稲町内会さわやか教室
南吾郷	なごみ会
東一番町、富地、九・十丁目	初田ふれあい・いきいきサロン
第一瀬戸山	カトレアサロン
向陽台、前谷地、東桜木町	「このゆびと〜まれ」いきいきサロン
相坂上地区	えがおサロン
八郷	楽らく会
新川原	新川原いきいきサロン



参加者が講師となってお茶会。特技や趣味も活かします。



人気のスカットボール。一球打つごとに参加者の歓声が上がります。

楽しみながら地域も元気に

高齢者が楽しく集える場所ができたことで、閉じこもりを防ぐだけでなく、利用者や地域にいるような効果が現れています。

サロンの参加者や運営している地域の皆さんにお話を伺いました。

みんなと会っておしゃべりできるので、毎回楽しみんでいます。挨拶しかなかった人とも、いろんな話ができるようになりました。(参加者)



家ではそんなに体操をしないけど、サロンだと楽な気持ちで楽しく体を動かせます。体も柔らかくなってきました。(参加者)



運営者の方より

「最初に予防体操を30分やっています。座ってしかできなかった人が、1年経ったら立ってできるようになっていて嬉しかったですですね。これは体操だけの効果ではないと感じています。」

「地域との交流が以前より薄れてきていたのが、サロンを始めてまた活性化してきました。手さぐりの状態で始めましたが、今ではみんなが楽しみにしてくれるようになりました。」

この他にも、生活上での困りごとや心配ごとの発見ができたり、喜ばしい役立つ情報交換の場になったりしています。

また、町内会・民生委員・保健協力員などと連携することで、地域の見守りネットワークづくりが構築されて、日常的な支援につなげることができます。



音楽に合わせて健康体操。手をつなぐと、自然に心もつながり、地域の輪ができます。

広がれ、集いの場

この事業で、「気軽に」「無理なく」「楽しく」「時間を過ごし」、高齢者の新しい生活習慣として広がった時、地域に「寝たきり」や「認知症」を防ぐ輪が広まっていくでしょう。

社会福祉協議会では、高齢者の元気なまちづくり、地域のネットワークづくりとなる「ふれあい・いきいきサロン」が市内にどんどん浸透し、元気な十和田市になるよう広めていきます。

また、毎年新たに取り組む地域を募集しています。

来年度の募集は、広報とわだ3月号でお知らせしますので、ぜひご覧下さい。

「ふれあい・いきいきサロン」を町内会の活動に加えて、地域を明るく元気に見ませんか。



お問い合わせ先

● 十和田市社会福祉協議会

☎ 23-2992

平成23年度 福祉の作品コンクール ほんわかハート展

次世代を担う小・中・高校生に、社会福祉への理解と関心を深めてもらうため、毎年「ほんわかハート展」を開催しています。

今年は、ポエム、作文、絵画、写真の4部門に対し、16小学校、6中学校、1高校より333作品の応募があり、厳正な審査を行った結果、入賞者が決定しましたのでご紹介します（敬称省略）。

最優秀賞受賞者の皆さん



中野渡楓さん 外和悠大くん 佐々木宗仁くん 戸間結紗也さん
堀内乃梨佳さん 高橋亜希さん 中野晃輔くん 郡川楓花さん
志田樹くん 江渡紗帆さん 澤田洗平くん 若木智礼くん

作文部門

小学校低学年の部

【最優秀賞】 若木 智礼（ちとせ1年）

小学校高学年の部

【最優秀賞】 中野 晃輔（南6年）

【優秀賞】 宮古 朋香（北園5年）

【優良賞】 櫻田 侑夕（ちとせ6年）

【優良賞】 梶澤 康海（高清水5年）

【優良賞】 裕田祐希那（ちとせ6年）

【優良賞】 久保田寿々（大不動6年）

【優良賞】 佐藤帆乃佳（北園4年）

【優良賞】 五十嵐徳佳（南4年）

【優良賞】 久保田 龍（大不動5年）

【優良賞】 向中野 開（南6年）

中学校の部

【最優秀賞】 高橋 亜希（甲東1年）

【優秀賞】 川村 晶純（三本木高校付属3年）

【優秀賞】 澤橋 紗季（三本木高校付属3年）

【優良賞】 中野渡ほのか（甲東2年）

【優良賞】 芦沢 留依（東2年）

【優良賞】 山崎 晴香（甲東3年）

【優良賞】 鳥越 朱李（三本木高校付属3年）

【優良賞】 小泉 空闊（甲東2年）

【優良賞】 田中 優衣（東2年）

【優良賞】 野口 結菜（三本木高校付属2年）

【優良賞】 久野 瑞歩（甲東3年）

『僕が学んだこと』

南小 6年 中野晃輔くん

「僕が通院している病院の玄関での出来事です。車いす用のスロープに患者さん達のくつがたくさん置かれていて、大人用の歩行器を押していたおばあさんが玄関から中へ入れないでいました。近くにいた僕と母は、すぐに片付け、よせ

てあげました。おばあさんは、「どうもありがとう。助かりました。」と喜んでくれ、無事に通ることができました。

僕は、これは親切に見えるけど親切でも何てもなく、みんながルールを守れば、こんなことは起こらないはずだと思います。

確かに急いだりして気づかないこともあるかもしれませんが、僕達も心のバリアフリーという授業でしっかりと学習しています。

高れい君は、どんなことで困るのか、どんなことをしてもつらくなるのか、など色々分かっているはず。こうして困る人もいるという事を常に頭の中に入れ、一人一人思いやりを持って自覚をしなければならぬんだと、この時は改めて考え直すきっかけになりました。

僕達もケガや病気をした時は、周りの人達に手助けしてもらおう事があると思います。

実際に僕は、一年前に足の骨にヒビが入るケガをして、約二ヶ月間家や学校でみんなの助けを借りるという事がありました。

歩けないので、登下校は父か母に送迎してもらい、学校では車いす生活なので先生や友達に教室移動を付きそつてもう日々でした。

この時は、本当にみんなにありがとうと感謝の気持ちでいっぱいでした。

最近、今度は反対に僕が手助けをする出来事が起こってしまいました。

僕の祖母が、玄関の階段をふみはずしてしまい、転んで頭をぶつけ大ケガをしてしまうという事があったのです。

祖母は、僕達と一緒に暮らしていないので、大変だと思い食料品などを買って、毎日様子を見に行きました。

祖母は、「自分の不注意でみんなに迷わくをかけてしまって、「ごめんね。」そして、帰る時には必ず、「ありがとう。」と、しきりに言っていました。

僕は、この時、ケガをして家族や先生、友達に助けもらった時の事を思い出し、祖母の気持ちや痛みをよく分かりました。

健康な僕達でも、こうして少しでも不自由になった時は、人の助けを借りる事が、とても嬉しく助かります。

常に僕達は、家族や友達だけではなく、お年寄りや体の不自由な人にも、思いやりの心を持ち、行動する事がとても大切なんだという事を、今回の自分の経験や周りの出来事で考えさせられ、学ぶ事が出来ました。

（一部省略させていただきます）

写真部門

小学校低学年の部

【最優秀賞】 澤田 洗平（南2年）

【優秀賞】 該当なし

【優良賞】 加賀 雪継（北園1年）

小学校高学年の部

【最優秀賞】 外和 悠大（北園6年）

【優秀賞】 漆畑那央斗（法興4年）

【優良賞】 苔米地桃花（藤坂4年）

【優良賞】 米内山藍花（洞内4年）

【優良賞】 木村 瞳子（北園4年）

【優良賞】 佐々木 咲（北園5年）

【優良賞】 町屋 杏心（北園6年）

高校の部

【最優秀賞】 中野渡 楓（十和田工業2年）

【優秀賞】 該当なし

【優良賞】 高橋 直（十和田工業2年）

【優良賞】 嶋森 和貴（十和田工業2年）



『おばあちゃんのお手伝い』
北園小 6年 外和悠大くん



『きれいにしてあげる』
南小 2年 澤田洗平くん



『たすけあい』
十和田工業高 2年 中野渡 楓さん

ポエム部門

小学校低学年の部

【最優秀賞】 志田 樹 (南2年)
 【優秀賞】 中屋敷敏樹 (北園1年)
 たばたなおひろ (東1年)

【優良賞】 千葉 陽太 (ちとせ1年)
 小原 煌大 (ちとせ1年)
 山崎 太己 (ちとせ1年)
 川村 風佳 (南2年)

【佳作】 長谷川碧羽 (藤坂2年)
 林 夏希 (沢田3年)
 畑中 常似 (三本木1年)
 坪 亜蓮 (洞内1年)
 榎山 翔也 (ちとせ1年)
 野中 海天 (十和田湖1年)
 石倉 巧翔 (法興2年)

小学校高学年の部

【最優秀賞】 郡川 楓花 (米田6年)
 【優秀賞】 百里地伸磨 (三本木5年)
 島山 竜征 (三本木5年)
 萩野 汀良 (ちとせ6年)

【優良賞】 泉 浩陽 (北園5年)
 竹ヶ原涼人 (藤坂5年)
 根岸 咲希 (米田5年)
 長沢 メイ (南6年)

【佳作】 守田 彩乃 (十和田湖6年)
 五十嵐穂佳 (南4年)
 竹ヶ原彩愛 (藤坂4年)
 宮本 一弥 (洞内6年)
 木村 和都 (伝法寺6年)
 根岸 翔太 (米田6年)

中学校の部

【最優秀賞】 佐々木崇仁 (甲東2年)
 【優秀賞】 小笠原美波 (甲東1年)
 高橋 亜希 (甲東1年)
 妻神 有浩 (甲東2年)

【優良賞】 小笠原悠衣 (甲東1年)
 板垣 琳奈 (十和田湖1年)
 及川 隆史 (甲東2年)

【佳作】 前川原綾香 (甲東2年)
 佐藤 悠太 (甲東3年)
 佐々木雄大 (甲東2年)
 声沢 留依 (東2年)
 石山 由梨 (甲東3年)
 中野渡美空 (甲東3年)
 高瀬 結花 (十和田湖3年)

高校の部

【最優秀賞】 該当なし
 【優良賞】 小泉 碧衣 (十和田工業2年)
 【佳作】 堀内 卓哉 (十和田工業1年)
 嶋森 和貴 (十和田工業2年)
 山崎 美咲 (十和田工業2年)

絵画部門

小学校低学年の部

【最優秀賞】 江渡 紗帆 (南1年)
 【優秀賞】 緊在家鈴香 (北園3年)
 山口 凜乃 (ちとせ3年)

【優良賞】 手代森蒼葵 (三本木1年)
 笹森 華 (南1年)
 増山 桃香 (西1年)
 佐々木澁香 (藤坂2年)
 瀧内 遥南 (沢田2年)

【佳作】 堀内乃梨佳 (沢田5年)
 小栗 太地 (三本木4年)
 山崎 芽依 (南4年)
 河野 莉奈 (南6年)
 須郷 桃花 (洞内4年)
 久保沙央里 (上切田6年)
 萩野 汀良 (ちとせ6年)
 下山 伊織 (法興6年)

小学校高学年の部

【優良賞】 田島寿美香 (三本木5年)
 泉 諒介 (北園6年)
 鶴ヶ崎美智 (西6年)
 山口 愛香 (大不動6年)
 氣田 唯 (法興6年)

中学校の部

【最優秀賞】 戸間 紗也 (四和2年)
 【優秀賞】 早川 結 (切田2年)
 【優良賞】 若沢 瑞穂 (切田2年)
 中野渡春香 (甲東2年)
 氣田 南海 (切田2年)
 工藤 実希 (甲東2年)
 小笠原夏希 (切田3年)

『思いやり』

米田小 6年 郡川楓花さん
 あじいちゃんの手
 洗っても黒いね
 おばあちゃん、腰が曲がって
 私より小さくなったね
 もうすぐ稲刈り
 いっぱい手伝いするね

『思いやり』

甲東中 2年 佐々木崇仁さん
 食卓につくと
 いつも出てくる大盛り
 どんなにケンカしたって、
 反抗したって出てくる大盛り
 明日も出てくるかわからない
 それでも反抗してしまおう。
 今日も出るのかな大盛り



『笑顔の花を咲かせよう』
 四和中 2年 戸間 紗也さん



『お年寄りに親切に』
 沢田小 5年 堀内乃梨佳さん



『たのしかったザリガニつり』
 南小 1年 江渡 紗帆さん

福祉関係者など48人、22団体を表彰
十和田市社会福祉大会開催

第7回十和田市社会福祉大会が10月20日（木）、文化センターで開催され、福祉関係者など約300人の市民が参加しました。

当日は、長年福祉に尽力された方や功績があった方など福祉関係者の表彰のほかに、記念講演や福祉の作品コンクール「ほんわかハート展」で最優秀賞を受賞した12人の生徒を表彰しました。



東北弁で親しみがわいた、
 東方落語はなし家
 川野自亭 南天氏の講演。



少し緊張していた受賞者の
 皆さん。

お互いの思いを伝え合う
広げボランティアの交流会開催



気持ちを伝え、熱く語り合う参加者の皆さん。

11月19日（土）、東公民館で「広げボランティアのわ交流会」が開催され、十三地域のボランティア48人が参加しました。

当日は、東日本大震災で被災した八戸市社会福祉協議会職員による災害ボランティアの講話や、情報交換会が行われました。

情報交換会では、時間が経つのも忘れるほど、各自の活動紹介やボランティアに対する思いを話し、交流を深めていきました。

大きな舞台でつながる心
ゆめ色フェスティバル開催

障がいの有無に関わらず市民が集い、交流を深めることを目的に11月26日（土）、サン・ロイヤルとわで、「ゆめ色フェスティバル2011」を開催し、約470人が参加しました。

当日は、障がい者施設・団体の方々の歌や劇、踊りなどが大きな舞台上で披露された後、交流会では、サンタとトナカイが登場し、参加者の皆さんと楽しいゲームなどを行いました。

「自分達も大きな舞台上で歌って



AKB48「会いたかった」のダンスで会場を盛り上げた、
 手をつなぐ育成会の皆さん。



軽快なトークでゲームを進行。

全員のメッセージが投函されると、ポストから大きな風船が飛び出し、会場を漂う姿に参加者の目は釘付けでした。

「自分達も大きな舞台上で歌ってみたい。」と障がいのある方の一言から始まったこのフェスティバルも今年で25回。記念せしモニーとして、「5年後の自分へのメッセージ」をゆめ色ポストに投函しました。このメッセージは、5年後のゆめ色フェスティバルで開封します。



たくさんのメッセージを寄せた風船が、
 会場高く舞上がりしました。

善意の窓

7月1日～
12月10日受付分
※社会福祉協議会への寄附は税制上
の優遇措置が認められています。

【福祉基金】

- ・小さな森保育園様……………2,000円
- ・十和田市民俗芸能協会様……………30,000円
- ・認定こども園 さつき幼稚園 園長 古瀬さよ 様、
父母の会 会長 田中聡一 様……………10,000円
- ・十和田市グラウンドゴルフ協会 会長 吉田潤 様……………21,500円
- ・自由民主党十和田市支部 女性部 様……………50,000円
- ・石 倉 み や 子 様……………5,000円
- ・櫻 田 裕 様……………100,000円
- ・田 中 寛 治 様……………60,000円
- ・江 渡 恵 美 様……………12,260円
- ・匿名……………50,000円
- ・匿名……………1,500円

【指定寄附金】

- ・青森リース物様……………20,000円
⇒ゆめ色フェスティバルへ

【物品寄附】

- ・折 館 京 子 様…ギャッチベッド1台
⇒日常生活用具貸与事業へ
- ・上北農産加工農業協同組合 様…スタミナ源タレ11箱
- ・山崎製パン㈱十和田工場 様……………パン1,100個
⇒ゆめ色フェスティバル出演団体、参加者へ



「さつき祭り」の収益金を社会福祉協議会事務局長(左)へ贈呈するさつき幼稚園父母の会の皆様

善意を届けて下さった自由民主党十和田市支部女性部の皆様

十和田市社協だより 平成24年1月発行 第89号
社会福祉協議会

〒034-0081 十和田市西十三番町2-25
総合福祉センター内

～ご意見、ご感想をお寄せ下さい～

E-mail: welfare@towada-shakyo.or.jp

ホームページ: http://towada-shakyo.or.jp

十和田市社協

検索

この広報は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しました



ふれあい相談所通信

悩みごとや困りごと、心配ごとが少しでも良い方向に向かうためのお手伝いをしている「ふれあい相談所」から、身近な悩みごとについてご紹介します。

Q: お隣の家との間に木を植えていますが、近年枝や落ち葉がお隣の敷地に入るようになりました。枝払いや落ち葉の処理でお隣にお邪魔することが多くなり、毎回声をかけてお邪魔しています。ある日お隣から「毎回断らなくても大丈夫ですよ。」と言われました。お隣同士良いお付き合いを続けていきたいのですが、本当に断らなくて良いのでしょうか？

A: お隣の方も気を遣って言って下さっているかもしれませんが、お隣と良い関係を続けるためには、敷地内にお邪魔するたびに声をかけた方が良いでしょう。ただ、中にはそれが少しわずらわしく感じる方もいます。その場合は、顔を合わせた時にでも「いつもすみません。」そして「ありがとうございます。」と、あなたの気持ちを伝えてはいかがでしょうか。

ポイント

- ★基本的に、お隣の敷地へ侵入する時は持ち主に声をかけるべきです。
- ★親しい仲にも礼儀があります。近所だからと、言いたいことも言えずに胸にしまい我慢する人も多いのです。そうならないためにも、日頃から交流を持ち、お互いの気持ちが汲み合えるような良い関係を築いていきましょう。

不安な方はどうぞ相談所(下記)へご連絡下さい。

場 所 十和田市総合福祉センター
相談専用 ☎22-7938

- 一般相談(心配ごと、悩みごと全般)
毎週月・木曜日 10時～15時
- 身体障がい者・知的障がい者相談
毎週金曜日 10時～12時
- 母子婦人・家庭児童相談
毎週火・水曜日 10時～15時
- 認知症を抱える家族の相談
毎月第3水曜日 13時30分～15時30分